

# iFree NYダウ・インデックス

## 運用報告書(全体版)

### 第5期

(決算日 2021年9月7日)

(作成対象期間 2020年9月8日～2021年9月7日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型		
信託期間	無期限		
運用方針	投資成果をダウ・ジョーンズ工業株価平均(円ベース)の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	NYダウ・インデックス・マザーファンドの受益証券	
	NYダウ・インデックス・マザーファンド	イ. 米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式(上場予定および店頭登録予定を含みます) ロ. 米国の企業のDR(預託証券) ハ. 米国株式の指数との連動をめざすETF(上場投資信託証券)	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率		
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式に投資し、投資成果をダウ・ジョーンズ工業株価平均(円ベース)の動きに連動させることをめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円ベース)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(ベンチマーク)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
1 期末 (2017年 9月 7日)	12,915	0	29.2	12,646	26.5	92.3	2.5	5.7	2,353
2 期末 (2018年 9月 7日)	15,850	0	22.7	15,257	20.6	96.4	2.1	1.8	7,552
3 期末 (2019年 9月 9日)	16,101	0	1.6	15,220	△ 0.2	97.2	1.2	1.6	12,394
4 期末 (2020年 9月 7日)	17,102	0	6.2	15,891	4.4	95.8	1.6	2.6	18,898
5 期末 (2021年 9月 7日)	22,514	0	31.6	20,620	29.8	93.6	2.8	3.6	28,160

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円ベース) は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

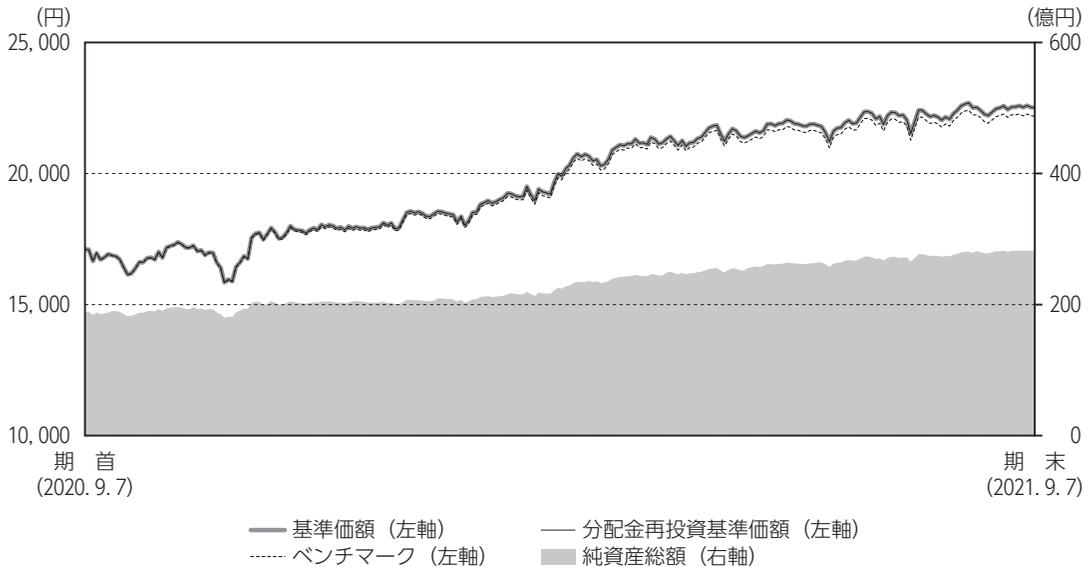
(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (以下「当インデックス」といいます。) は S&P Dow Jones Indices LLC (「S P D J I」) の商品であり、これを利用するライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。Standard & Poor's<sup>®</sup> および S & P<sup>®</sup> は Standard & Poor's Financial Services LLC (「S & P」) の登録商標で、Dow Jones<sup>®</sup> は Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスが S P D J I に、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが大和アセットマネジメント株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、S P D J I、Dow Jones、S & P またはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) ベンチマークは、期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- \* ベンチマークはダウ・ジョーンズ工業株価平均（円ベース）です。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：17,102円

期末：22,514円（分配金0円）

騰落率：31.6%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

ベンチマークの動きをほぼ反映して、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		ダウ・ジョーンズ 工業株価平均 (円ベース)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率			
(期首)2020年9月7日	円	%		%	%	%	%
	17,102	—	15,891	—	95.8	1.6	2.6
9月末	16,610	△ 2.9	15,425	△ 2.9	93.7	1.6	4.9
10月末	15,956	△ 6.7	14,809	△ 6.8	93.1	2.0	5.3
11月末	17,816	4.2	16,502	3.8	93.0	2.5	4.6
12月末	18,025	5.4	16,674	4.9	95.1	2.3	2.4
2021年1月末	18,367	7.4	16,981	6.9	94.7	2.3	2.9
2月末	19,200	12.3	17,719	11.5	94.7	2.3	3.0
3月末	21,093	23.3	19,442	22.3	92.5	2.3	5.2
4月末	21,388	25.1	19,704	24.0	91.9	2.9	5.3
5月末	21,897	28.0	20,127	26.7	90.8	3.5	5.7
6月末	21,921	28.2	20,138	26.7	92.7	4.0	3.2
7月末	22,218	29.9	20,400	28.4	93.5	3.3	3.3
8月末	22,540	31.8	20,661	30.0	93.6	2.8	3.5
(期末)2021年9月7日	22,514	31.6	20,620	29.8	93.6	2.8	3.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2020.9.8 ~ 2021.9.7)

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、大幅に上昇した銘柄に利益確定の動きが強まったとみられるほか、米国大統領選挙を控えてリスクを回避する動きも強まったようで、上値の重い展開となりました。2020年11月以降は、米国大統領選挙で民主党のバイデン氏が当選確実となって選挙結果に対する不確実性が後退したことや、それによって大型経済対策への期待が高まったこと、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったことなどが好感され、株価は上昇しました。2021年に入っても、1月には米国ジョージア州における上院決選投票で民主党候補が勝利し、大型経済対策などの政策の実現化が現実味を帯び、3月には実際に米国で追加経済対策が発表されたことや、ワクチンの接種が進んで新規感染者数が減少したことなどが好感され、株価は引き続き上昇しました。その後は、インフレ懸念の高まりや金融緩和縮小の早期化観測などから一時的に調整する場面はあったものの、ワクチンの接種が進んで種々の行動制限が解除されたことや良好な企業業績の発表などが好感され、史上最高値を更新しました。

### ■ 為替相場

為替相場は、円安米ドル高となりました。

米ドル円為替相場は、当作成期首より、新型コロナウイルスの感染再拡大などから、市場のリスク回避姿勢が強まったことで、円高傾向となりました。その後も、米国の追加経済対策を受けた財政赤字拡大観測や金融緩和政策の継続を背景に円高傾向となりました。2021年に入ると、米国での追加経済対策の成立や、経済指標の改善により米国金利が上昇したことなどから米ドルが買い進められ、円安傾向となりました。その後も、世界的にワクチン接種が進む中で、世界経済への楽観的な見方が広がり市場のリスク選好度が強まったことなどから、円安傾向となりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

今後の運用にあたりましては、引き続き、「NYダウ・インデックス・マザーファンド」の受益証券をほぼ100%組み入れることで、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

### ■NYダウ・インデックス・マザーファンド

今後の運用にあたりましては、引き続き、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

## ポートフォリオについて

(2020.9.8～2021.9.7)

### ■当ファンド

「NYダウ・インデックス・マザーファンド」の受益証券をほぼ100%組み入れました。

### ■NYダウ・インデックス・マザーファンド

米国株式を中心に、ダウ・ジョーンズ工業株価平均との連動をめざす先物・ETF（上場投資信託証券）も一部利用し、株式組入比率（ETF、株価指数先物を含む。）につきましては、当作成期を通じておおむね100%程度の水準を維持しました。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均の採用銘柄に投資を行うことで米国株式のポートフォリオを構築し、ファンドの資産規模や資金動向、売買コストの抑制等を勘案しながら、基準価額とベンチマークとの連動性を維持・向上させるよう運用を行いました。

\* マザーファンドのベンチマークは以下の通りです。

組入ファンド	ベンチマーク
NYダウ・インデックス・マザーファンド	ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円ベース）

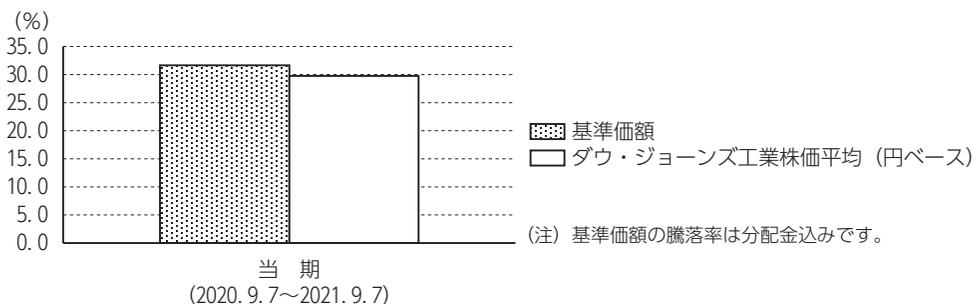
## ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は29.8%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は31.6%となりました。

当ファンドが組み入れているマザーファンドには保有している株式等の配当金が計上されたのに対して、ベンチマークには配当分が含まれていないため、かい離要因となりました。

その他、マザーファンドで組み入れているポートフォリオの騰落率とベンチマークの騰落率との差異、運用管理費用、売買コスト等がかい離要因として挙げられます。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



\*ベンチマークはダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円ベース) です。

## 分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2020年9月8日 ～2021年9月7日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	12,513

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後の運用にあたりましては、引き続き、「NYダウ・インデックス・マザーファンド」の受益証券をほぼ100%組み入れることで、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

### ■NYダウ・インデックス・マザーファンド

今後の運用にあたりましては、引き続き、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020.9.8~2021.9.7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	49円	0.247%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は19,765円です。
(投 信 会 社)	(26)	(0.132)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(17)	(0.088)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	0	0.002	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(0)	(0.001)	
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.001)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	2	0.012	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	52	0.261	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

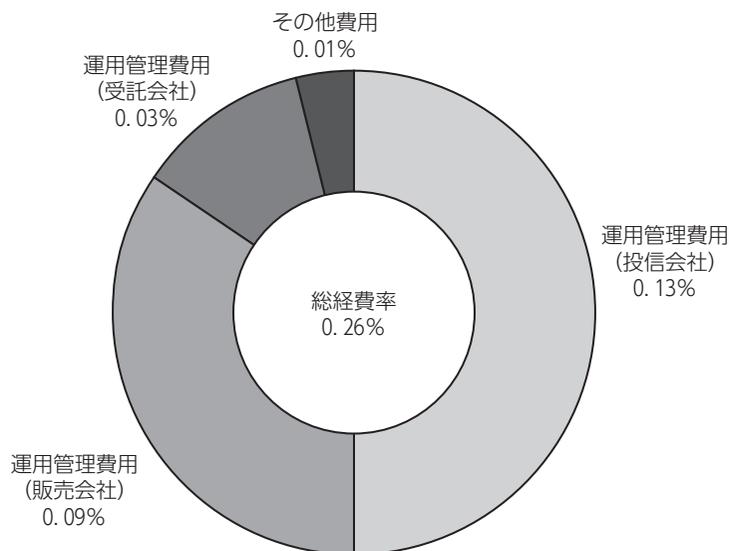
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.26%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## ■売買および取引の状況

## 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年9月8日から2021年9月7日まで)

項目	設 定		解 約	
	□ 数 千口	金 額 千円	□ 数 千口	金 額 千円
NYダウ・インデックス・マザーファンド	2,754,780	5,471,450	1,342,581	2,518,060

(注) 単位未満は切捨て。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年9月8日から2021年9月7日まで)

項 目	当 期
	NYダウ・インデックス・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,786,566千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	21,549,790千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.12

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## ■組入資産明細表

## 親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	□ 数 千口	金 額 千円	評 価 額 千円	□ 数 千口	金 額 千円	評 価 額 千円
NYダウ・インデックス・マザーファンド	10,936,578	12,348,777	28,157,682			

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2021年9月7日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額 千円	比 率 %
NYダウ・インデックス・マザーファンド	28,157,682	99.7
コール・ローン等、その他	79,676	0.3
投資信託財産総額	28,237,359	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲価をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月7日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝109.78円です。

(注3) NYダウ・インデックス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(27,726,956千円)の投資信託財産総額(28,173,997千円)に対する比率は、98.4%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年9月7日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	28,237,359,590円
コール・ローン等	78,466,793
NYダウ・インデックス・マザーファンド(評価額)	28,157,682,797
未収入金	1,210,000
(B) 負債	76,813,389
未払解約金	43,869,078
未払信託報酬	32,225,031
その他未払費用	719,280
(C) 純資産総額(A-B)	28,160,546,201
元本	12,508,081,539
次期繰越損益金	15,652,464,662
(D) 受益権総口数	12,508,081,539口
1万口当り基準価額(C/D)	22,514円

\* 期首における元本額は11,050,232,416円、当作成期間中における追加設定元本額は6,799,521,187円、同解約元本額は5,341,672,064円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は22,514円です。

## ■損益の状況

当期 自 2020年9月8日 至 2021年9月7日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 30,669円
受取利息	6,744
支払利息	△ 37,413
(B) 有価証券売買損益	5,293,304,600
売買益	6,321,108,868
売買損	△ 1,027,804,268
(C) 信託報酬等	△ 58,256,546
(D) 当期損益金 (A + B + C)	5,235,017,385
(E) 前期繰越損益金	1,123,099,748
(F) 追加信託差損益金	9,294,347,529
(配当等相当額)	( 3,153,925,378)
(売買損益相当額)	( 6,140,422,151)
(G) 合計 (D + E + F)	15,652,464,662
次期繰越損益金 (G)	15,652,464,662
追加信託差損益金	9,294,347,529
(配当等相当額)	( 3,153,925,378)
(売買損益相当額)	( 6,140,422,151)
分配準備積立金	6,358,147,802
繰越損益金	△ 30,669

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	5,235,030,666
(c) 収益調整金	9,294,347,529
(d) 分配準備積立金	1,123,117,136
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	15,652,495,331
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	15,652,495,331
(h) 受益権総口数	12,508,081,539口

# NYダウ・インデックス・マザーファンド

## 運用報告書 第5期 (決算日 2021年9月7日)

(作成対象期間 2020年9月8日～2021年9月7日)

NYダウ・インデックス・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

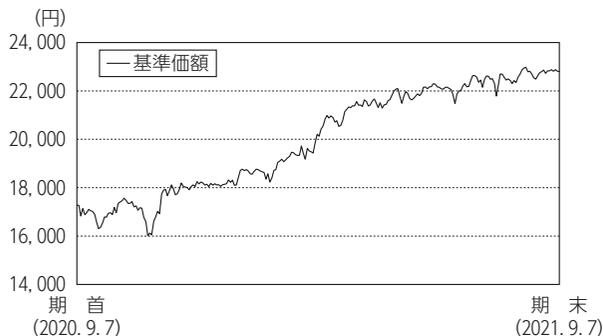
運用方針	投資成果をダウ・ジョーンズ工業株価平均（円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. 米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。） ロ. 米国の企業のDR（預託証券） ハ. 米国株式の指数との連動をめざすETF（上場投資信託証券）
株式組入制限	無制限

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円ベース)		株組比	式入率	株先比	式物率	投資信託受益証券組入比率
	円	騰落率	(ベンチマーク)	騰落率					
(期首) 2020年9月7日	17,277	—	15,891	—	95.8	—	1.6	2.6	
9月末	16,782	△ 2.9	15,425	△ 2.9	93.7	—	1.6	4.9	
10月末	16,125	△ 6.7	14,809	△ 6.8	93.1	—	2.0	5.3	
11月末	18,008	4.2	16,502	3.8	93.0	—	2.5	4.6	
12月末	18,224	5.5	16,674	4.9	95.1	—	2.3	2.4	
2021年1月末	18,573	7.5	16,981	6.9	94.7	—	2.3	2.9	
2月末	19,419	12.4	17,719	11.5	94.7	—	2.3	3.0	
3月末	21,339	23.5	19,442	22.3	92.6	—	2.3	5.2	
4月末	21,642	25.3	19,704	24.0	91.9	—	2.9	5.3	
5月末	22,162	28.3	20,127	26.7	90.9	—	3.5	5.7	
6月末	22,191	28.4	20,138	26.7	92.8	—	4.0	3.2	
7月末	22,496	30.2	20,400	28.4	93.5	—	3.3	3.3	
8月末	22,827	32.1	20,661	30.0	93.7	—	2.8	3.5	
(期末) 2021年9月7日	22,802	32.0	20,620	29.8	93.6	—	2.8	3.6	

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円ベース) は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：17,277円 期末：22,802円 騰落率：32.0%

【基準価額の主な変動要因】

ベンチマークの動きをほぼ反映して、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、大幅に上昇した銘柄に利益確定の動きが強まったとみられるほか、米国大統領選挙を控えてリスクを回避する動きも強まったようで、上値の重い展開となりました。2020年11月以降は、米国大統領選挙で民主党のバイデン氏が当選確実となって選挙結果に対する不確実性が後退したことや、それによって大型経済対策への期待が高まったこと、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったことなどが好感され、株価は上昇しました。2021年に入っても、1月には米国ジョージア州における上院決選投票で民主党候補が勝利し、大型経済対策などの政策の実現化が現実味を帯び、3月には実際に米国で追加経済対策が発表されたことや、ワクチンの接種が進んで新規感染者数が減少したことなどが好感され、株価は引き続き上昇しました。その後は、インフレ懸念の高まりや金融緩和縮小の早期化観測などから一時的に調整する場面があったものの、ワクチンの接種が進んで種々の行動制限が解除されたことや良好な企業業績の発表などが好感され、史上最高値を更新しました。

○ 為替相場

為替相場は、円安米ドル高となりました。

米ドル円為替相場は、当作成期首より、新型コロナウイルスの感染再拡大などから、市場のリスク回避姿勢が強まったことで、円高傾向となりました。その後も、米国の追加経済対策を受けた財政赤字拡大観測や金融緩和政策の継続を背景に円高傾向となりました。2021年に入ると、米国での追加経済対策の成立や、経済指標の改善により米金利が上昇したことなどから米ドルが買い進められ円安傾向となりました。その後も、世界的にワクチン接種が進む中で、世界経済への楽観的な見方が広がり市場のリスク選好度が強まったことなどから、円安傾向となりました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

今後の運用にあたりましても、引き続き、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

◆ ポートフォリオについて

米国株式を中心に、ダウ・ジョーンズ工業株価平均との連動をめざす先物・ETF（上場投資信託証券）も一部利用し、株式組入比率（ETF、株価指数先物を含む。）につきましては、当作成期を通じておおむね100%程度の水準を維持しました。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均の採用銘柄に投資を行うことで米国株式のポートフォリオを構築し、ファンドの資産規模や資金動向、売買コストの抑制等を勘案しながら、基準価額とベンチマークとの連動性を維持・向上させるよう運用を行いました。

◆ ベンチマークとの差異について

ベンチマークの騰落率は29.8%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は32.0%となりました。

ファンドには保有している株式等の配当金が計上されたのに対して、ベンチマークには配当分が含まれていないため、かい離要因となりました。

その他、ファンドで組み入れているポートフォリオの騰落率とベンチマークの騰落率との差異や売買コスト等がかい離要因として挙げられます。

\* ベンチマークはダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円ベース) です。

《今後の運用方針》

今後の運用にあたりましても、引き続き、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (先物・オプション) (投資信託受益証券)	0円 ( 0) ( 0) ( 0)
有価証券取引税 (株式) (投資信託受益証券)	0 ( 0) ( 0)
その他費用 (保管費用) (その他)	1 ( 1) ( 0)
合 計	2

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 株 式

(2020年9月8日から2021年9月7日まで)

	買 付	売 付	
		株 数	金 額
外国 アメリカ	百株 1,467 ( 41.28)	千アメリカ・ドル 25,352 ( ー)	百株 41.28 千アメリカ・ドル 123

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

(1) 株 式

(2020年9月8日から2021年9月7日まで)

銘 柄	当 期			銘 柄	当 期		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
UNITEDHEALTH GROUP INC (アメリカ)	4.89	212,728	43,502	ORGANON & CO (アメリカ)	4.128	13,680	3,314
GOLDMAN SACHS GROUP INC (アメリカ)	4.89	192,706	39,408				
HOME DEPOT INC (アメリカ)	4.89	167,098	34,171				
MICROSOFT CORP (アメリカ)	4.89	140,128	28,656				
AMGEN INC (アメリカ)	4.89	128,950	26,370				
SALESFORCE.COM INC (アメリカ)	4.89	127,404	26,054				
BOEING CO/THE (アメリカ)	4.89	126,185	25,804				
MCDONALD'S CORP (アメリカ)	4.89	124,928	25,547				
VISA INC-CLASS A SHARES (アメリカ)	4.89	124,125	25,383				
HONEYWELL INTERNATIONAL INC (アメリカ)	4.89	120,713	24,685				

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託受益証券

(2020年9月8日から2021年9月7日まで)

	買 付	売 付	
		口 数	金 額
外国 アメリカ	千口 102.96 ( ー)	千アメリカ・ドル 31,795 ( ー)	千口 93.19 ( ー)
		千アメリカ・ドル 29,364 ( ー)	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付( )内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

(3) 先物取引の種類別取引状況

(2020年9月8日から2021年9月7日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国 株式先物取引	百万円 3,236	百万円 2,918	百万円 ー	百万円 ー

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

# NYダウ・インデックス・マザーファンド

## (2) 投資信託受益証券

(2020年9月8日から2021年9月7日まで)

当 期				期 末			
買 付		金 額		売 付		金 額	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
SPDR DJIA TRUST (アメリカ)	102.96	3,412,205	33,141	SPDR DJIA TRUST (アメリカ)	93.19	3,136,136	33,653

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表

### (1) 外国株式

銘 柄	株 数	期 首	当 期 末		業 種 等	
			株 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
(アメリカ)						
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	398.1	447	10,207	1,120,600	資本財・サービス	
APPLE INC	398.1	447	6,897	757,175	情報技術	
BOEING CO/THE	398.1	447	9,752	1,070,596	資本財・サービス	
VERIZON COMMUNICATIONS INC	398.1	447	2,477	272,004	コミュニケーション・サービス	
JPMORGAN CHASE & CO	398.1	447	7,129	782,643	金融	
CATERPILLAR INC	398.1	447	9,403	1,032,320	資本財・サービス	
CISCO SYSTEMS INC	398.1	447	2,656	291,583	情報技術	
COCA-COLA CO/THE	398.1	447	2,535	278,383	生活必需品	
GOLDMAN SACHS GROUP INC	398.1	447	18,385	2,018,366	金融	
HOME DEPOT INC	398.1	447	14,766	1,621,033	一般消費財・サービス	
INTL BUSINESS MACHINES CORP	398.1	447	6,239	684,942	情報技術	
JOHNSON & JOHNSON	398.1	447	7,824	858,950	ヘルスケア	
MCDONALD'S CORP	398.1	447	10,675	1,171,929	一般消費財・サービス	
3M CO	398.1	447	8,689	953,903	資本財・サービス	
MERCK & CO. INC.	398.1	447	3,453	379,127	ヘルスケア	
NIKE INC -CL B	398.1	447	7,299	801,291	一般消費財・サービス	
DOW INC	398.1	447	2,776	304,833	素材	
PROCTER & GAMBLE CO/THE	398.1	447	6,439	706,877	生活必需品	
CHEVRON CORP	398.1	447	4,357	478,399	エネルギー	
TRAVELERS COS INC/THE	398.1	447	7,114	781,073	金融	
SALESFORCE.COM INC	398.1	447	11,938	1,310,605	情報技術	
UNITEDHEALTH GROUP INC	398.1	447	18,901	2,075,044	ヘルスケア	
WALT DISNEY CO/THE	398.1	447	8,090	888,197	コミュニケーション・サービス	
WALMART INC	398.1	447	6,671	732,394	生活必需品	
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	398.1	447	2,292	251,688	生活必需品	
VISA INC-CLASS A SHARES	398.1	447	10,062	1,104,652	情報技術	
AMERICAN EXPRESS CO	398.1	447	7,120	781,711	金融	
AMGEN INC	398.1	447	10,118	1,110,835	ヘルスケア	
INTEL CORP	398.1	447	2,391	262,582	情報技術	
MICROSOFT CORP	398.1	447	13,460	1,477,743	情報技術	
ファン ド 合 計	株 数、金 額	11,943	13,410	240,130	26,361,492	
	銘 柄 数 < 比 率 >	30 銘柄	30 銘柄		< 93.6% >	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託受益証券

銘柄	期首 口数	当期 口数	期末 評価額	
			外貨建金額 千アメリカ・ドル	邦貨換算金額 千円
(アメリカ) SPDR DJIA TRUST	千口 16.45	千口 26.22	9,285	1,019,367
合計	口数、金額 銘柄数 < 比率 > 1銘柄	口数 1銘柄	9,285	1,019,367 < 3.6% >

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(3) 先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘柄別	当期末	
	買建額 百万円	売建額 百万円
外国 DJIA MINI E-CBOT (アメリカ)	776	—

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年9月7日現在

項目	当期末	
	評価額 千円	比率 %
株式	26,361,492	93.6
投資信託受益証券	1,019,367	3.6
コール・ローン等、その他	793,137	2.8
投資信託財産総額	28,173,997	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月7日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.78円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産 (27,726,956千円) の投資信託財産総額 (28,173,997千円) に対する比率は、98.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年9月7日現在

項目	当期末
(A) 資産	28,604,239,163円
コール・ローン等	458,941,931
株式 (評価額)	26,361,492,039
投資信託受益証券 (評価額)	1,019,367,767
未収入金	456,815,297
未収配当金	66,733,985
差入委託証拠金	240,888,144
(B) 負債	447,031,609
未払金	445,821,609
未払解約金	1,210,000
(C) 純資産総額 (A - B)	28,157,207,554
元本	12,348,777,650
次期繰越損益金	15,808,429,904
(D) 受益権総口数	12,348,777,650口
1万口当り基準価額 (C / D)	22,802円

\* 期首における元本額は10,936,578,639円、当作成期間中における追加設定元本額は2,754,780,421円、同解約元本額は1,342,581,410円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、iFree NYダウ・インデックス12,348,777,650円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は22,802円です。

# NYダウ・インデックス・マザーファンド

## ■損益の状況

当期 自 2020年9月8日 至 2021年9月7日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	394,843,036円
受取配当金	394,999,327
受取利息	11,385
支払利息	△ 167,676
(B) 有価証券売買損益	5,772,158,747
売買益	5,968,122,583
売買損	△ 195,963,836
(C) 先物取引等損益	142,580,178
取引益	144,523,778
取引損	△ 1,943,600
(D) その他費用	△ 1,401,207
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	6,308,180,754
(F) 前期繰越損益金	7,959,058,161
(G) 解約差損益金	△ 1,175,478,590
(H) 追加信託差損益金	2,716,669,579
(I) 合計 (E + F + G + H)	15,808,429,904
次期繰越損益金 (I)	15,808,429,904

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均（以下「当インデックス」といいます。）は S&P Dow Jones Indices LLC（「S P D J I」）の商品であり、これを利用するライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。Standard & Poor's<sup>®</sup> および S & P<sup>®</sup> は Standard & Poor's Financial Services LLC（「S & P」）の登録商標で、Dow Jones<sup>®</sup> は Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスが S P D J I に、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが大和アセットマネジメント株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、S P D J I、Dow Jones、S & P またはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行なわず、当インデックスの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。